

第4回富士見市次世代育成支援後期行動計画策定委員会会議録

日時：平成21年11月10日(火)
 (午後1時30分～3時15分)
 場所：富士見市役所 1F
 全員協議会室

出欠状況						
加治委員長	藤森副委員長	石川委員	大居委員	増淵委員	尾崎委員	吉田委員
出席	出席	出席	出席	出席	出席	出席
近藤委員	竹内委員	湊委員	大津委員	高野委員	鈴木委員	小倉委員
出席	欠席	欠席	欠席	出席	出席	出席
市園委員	黒岩委員	和田委員	牧田委員	原委員	河野委員	
出席	出席	欠席	出席	出席	出席	
事務局	笠川部長、島田課長、渋谷副課長、水口副課長、銘苅副課長、梶田児童館館長					

内 容
<p>1 開 会 事務局により、開会が宣言された。</p> <p>2 委員長あいさつ 加治委員長により、あいさつが行われた。</p> <p>3 出欠の確認 事務局により、大津委員、湊委員、和田委員、竹内委員の欠席が確認された。</p> <p>議 事</p> <p>(1) 富士見市次世代育成支援後期行動計画(案)について 第4章 後期行動計画 事務局により、配布資料の確認が行われた。また、資料1に基づき、第3回策定委員会の議論をふまえた対応について説明が行われた。</p> <p>質疑 副委員長 「食育の推進」について説明されている中で、「食文化の伝承」という言葉があるが、どのようなことか。 事務局 富士見市は、大きく鶴瀬、南畑、水谷という3つの地域性があり、それぞれの地域に伝</p>

わる特色ある食文化を想定している。

副委員長 具体的な例がいくつかあれば分かりやすい。聞かれた時に答えられるようご準備いただきたい。

委員長 南畑は水田地域で、生産されるものはだいたい決まっている。食料生産に密着した生活が多かった。丘の方は水田がなく、麦を中心としていた。今はどの地域でも食生活について変わらないと思うが、昔は、地域によって色々あった。

委員 水谷には寄り合いの終わった後に、手打ちうどんを食べておひらきにする習慣があり、今も続いている。青少年健全育成事業の中でもうどんの作り方を指導し、子どもたちも一緒に作ることで、伝承をしている。

委員 全体の表現について、具体的に書き込まれているところがある一方、理念的な表現がなされているところもあり整理が必要。

委員 保育所2箇所の新設について、新設するためには土地とお金が苦労するところであり、大変だと思うので、行政のバックアップが必要である。

委員 民間の保育所について、専門性を落とさないようにしてほしい。

委員 専門性について、富士見市の民間保育所は大変よい。あとは、親の子どもを見る目を育てなければならない。専門家について、スクールカウンセラーが少ない。また、志木市に比べ、富士見市は保健師の数が少ないと思う。

委員 富士見市は保育所の設置基準の保育所保育士の人数は国の基準を上回っている。面積にしても上回っており素晴らしいことである。

委員長 安定して就職できる体制もとらなければならない。待遇など埼玉県と東京都との差が大きい。都のようにはできないが、理想では有資格者を大勢入れての保育が望ましいので、それに合った環境と努力が必要である。

委員 専門職でなくともボランティアなどと連携を取りながらでの対応でもよいのでは。

委員 保育所でも、臨時職員が増加しているが、利用者にとっては、質の低下としてうつる。職員を減らしていくといっても、保育に関しては、別に考えていただきたい。

事務局 民間へシフトしていく流れの中で、公立のキャパと職員数を減らすことを併せて考えている。

委員 市立の保育所を減らすということか。

事務局 民間へシフトしていくという意味合いである。

委員 駅型保育所など、利用者が使いやすいように、基準を変えていけないか。

事務局 認可施設できちんとカバーしようというのが基本であり、まずは、認可施設をきちんとし、駅前にある家庭保育施設など認可的な施設などでの対応を行ってきている。駅型保育所を新たに作るというのは難しいため、認可施設と家庭保育室との連携で、引き続き対応していきたい。

委員 駅ビルの空きフロアを使っているところについて、志木市は認可しているが。

事務局 それは家庭保育室だと思われる。富士見市でも、認可している家庭保育室はある。一般的に報道される「認可」「認可外」というが、家庭保育室は、国制度では認可外であるが、市の認定として家庭保育室をやっていたらあり、志木市も同じ方式だと思う。

第5章 計画の目標

事務局により、資料に基づき説明が行われた。

質疑

委員 放課後児童クラブについて。時代に合った開室時間を検討していただきたい。

事務局 ヒアリングなどで“小1の壁”があるという声を多く聞いた。施策「放課後児童クラブの運営の充実」の中で「延長」についての取り組みを記述している。今後は、需要を把握した上で、見直しを検討していきたい。

委員 ファミリーサポートセンターに登録しているが、ふじみ野市などと連携してやれないのか、検討いただきたい。

委員 施策「中高生の居場所づくり」とあるが、現在、どのくらいの人が利用しているのか。

事務局 10～20名が参加している。

委員 施策「地域子育て支援センター（各保育所（園））事業の推進」について、現状が9.9%とあるが、なぜ、9.9%なのか分析する必要がある。また、施策「教育相談事業の推進」について、現状の教育相談延べ件数が3,785件とあるが、どのくらい解決したのかなども分かるとよい。「地域のボランティア活動への保護者の参加率」の目標のところ、で、「増加」とあるが、大変なことだと思う。

事務局 施策の実施結果の検証・評価の際に分析していく予定である。

第6章 計画の推進

事務局により、資料に基づき説明が行われた。また、製本する際には付属資料も入れる旨、付け加えられた。

質疑

委員 第5章の施策「母子保健家庭訪問事業の推進」について、地域差もあると思うが、なり手がいない地区もあり、母子推進員の推薦は、全て町会にお任せでなく、公募等も考えていただきたい。

事務局 所管で検討するよう伝える。

(2) 今後の策定スケジュール

事務局により、本策定委員会をふまえ微調整をした後、パブリックコメントで1か月間意見を募集し、その上で、1月に整理し、2月に再協議いただく旨伝えられた。

4 次回の開催日程について

事務局により、次回のスケジュールについて説明が行われた。

第5回 策定委員会 日時：2月23日（火）午後1時30分～

5 閉会

委員長により、閉会が宣言された。